

目次へ戻る

このページ

印刷.pdf

# Win\_XP機を考察、軽快に動かす



Win\_XPパソコンも使い続けていると、ごみが溜まり、起動や動作がもたついて来ます。これらを何とかすれば、もう少し使えるのでは、と考察します。

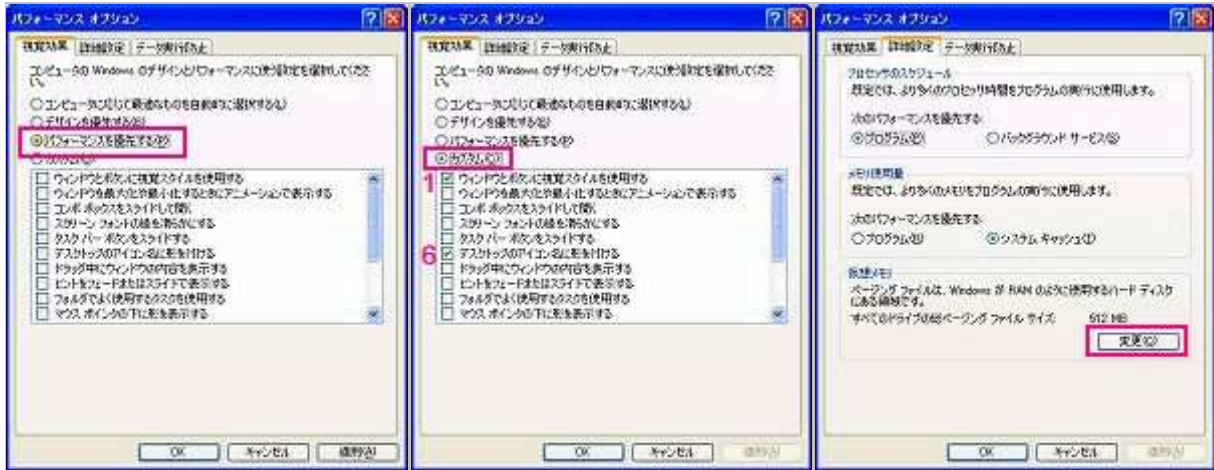
25.01.25

## Win\_XPの設定を変更

OSの設定を見直して、軽快に動かします。

### システムのプロパティの設定を変更

コントロールパネルを開き、システムのプロパティを開きます。詳細設定、パフォーマンスオプション、視覚効果を開きます。



最初にパフォーマンスを優先するをクリック。チェックを外す。

カスタムを選び、項目の1と6にチェックを入れ適用をクリック。

詳細設定タブをクリック。仮想メモリ、変更をクリック。



仮想メモリ、カスタムサイズを、**メモリーサイズ=初期サイズ=最大サイズ**とする。設定クリック。

起動と回復を開き、起動システムを、1秒に。システムエラーの項目のチェックを外す。

リモートタブをクリック、リモートアシスタンスのチェックをはずす。適用をクリック。

## システムの画面のプロパティの設定を変更



コントロールパネルを開き、画面のプロパティを開きます。設定、画面の色の設定を中（16ビット）に変更します。適用をクリックすると、この設定でよいかと問い合わせがある。OKをクリック。

画像の表示に不都合があれば、元に戻すこと。

この画面で画面の解像度を変更すると、表示サイズが変更され、文字の大きさが変更できるが、最大解像度で使うほうが、表示される画面は詳細になる。

## ファイルをDドライブに保存する



ドライブDにファイルを保存します。

エクスプローラーを開き、マイドキュメントのプロパティを開きます。ターゲット、リンク先をDドライブに変更し、適用をクリックします。マイドキュメントのすべてのファイルが、Dドライブに移動します。これで、Cドライブにはデータファイルは保存されなくなり、起動や動作のもたつきが解消されます。通常のファイルの保存やファイルを開くときには、ドライブの違いは表示され

ません。

<http://machizukan.net/team21/>

## フリーソフトで快適に設定する

### CCleanerでパソコンの掃除を！！



インストールをして、左のアイコンをクリック。



クリーナー。解析をクリック。リストが出たら、クリーンアップ開始をクリック。

問題点。問題点をスキャンをクリック。使われていないファイルや、使われていない設定が表示されます。問題点を解決をクリックして、次で削除します。



ツール。

インストールされているアプリケーションが表示され、アンインストールが実行できます。

オプション。

あなたのPCの・・・にチェックを入れる。上記の2項目が、PCの起動時に自動実行されます。

Disk Defragでファイルの配置を最適化！！



diskdefrag  
Disk Defrag  
Auslogics

インストールをして、左のアイコンをクリック。



デフラグをクリックすると、ファイルの最適化が行われます。OSに付属する標準のものより早いのが特徴です。



Win acceleratorで起動、終了を早くする！！



インストールをして、左のアイコンをクリック。

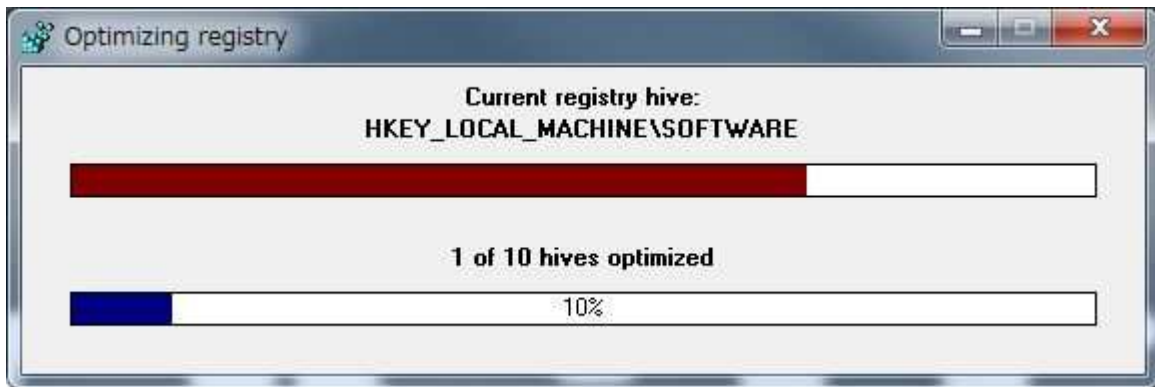
<p>システム。 2、6、8、にチェックを入れる。</p>	<p>デスクトップ。 1、2、8、10、にチェックを入れる。</p>	<p>エクスプローラー。 2、4、5、6、8、9、10、にチェックを入れる。</p>
<p>起動・終了。 1、2、3、6、7、9、にチェックを入れる。</p>	<p>その他。 2、3、4、5、6、7、にチェックを入れる。</p>	<p>高速化設定。 高速化設定をクリック。OKをクリック。</p>

起動、終了が早くなり、うるさい自動更新の表示も出なくなります。

NTREGOPTでレジストリーを掃除する！！



インストールをして、左のアイコンをクリック。



レジストリーを検査して、関連のない項目や使われていない項目を削除します。

場合によっては、ファイルのバイト数が半分位にもなります。つまり、不要ファイルが多かったことになります。この結果、検索する時間が短縮され、起動が早くなります。

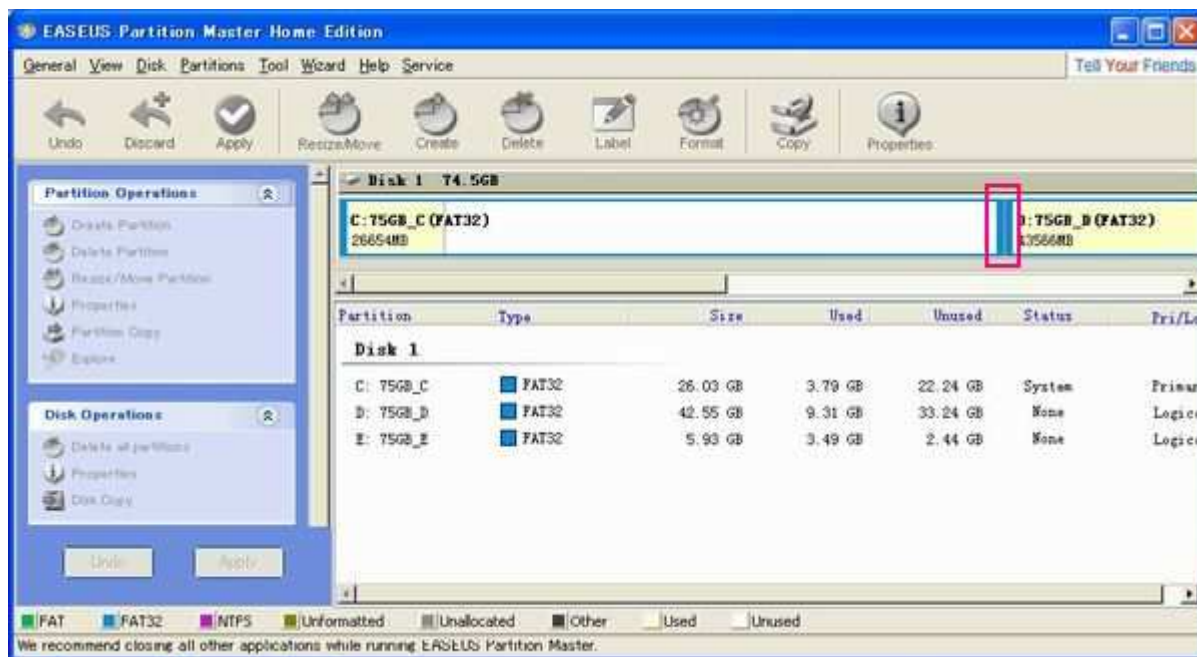
### EASEUS Partition Manager で Dドライブを作成！！



¥epm¥EPMSSetup.exe をクリックしてインストールしてから使います。

実行すると、Linuxが起動して移動が行われ、ドライブが作成されます。

分割、移動の前に、ファイルの位置などを確認し、デフラグを実行してからがよい



パーティションの境目、赤枠を左右に移動すると、ドライブの容量が変更できます。薄い黄色はファイルのある箇所です。Apply をクリックすると、再起動してLinuxになり、手を加えることは不可能です。ただ、完成するまで待つのみです。最後に、Windowsが起動して完成です。

<http://machizukan.net/team21/>

## HDDの状態を調べる

CrystalDiskInfoでハードディスクを調べる！！



DiskInfo.e  
xe

インストールをして、左のアイコンをクリック。

CDI 2.7.4 - 『使用時間』の単位を検出中です... (約 130 秒かかります)

ファイル(E) 編集(E) 機能(U) テーマ(I) ディスク(D) ヘルプ(H) 言語(Language)

● 正常 30 °C D: E: F: ● 正常 -- °C C:

### ST3500413AS 500.1 GB

健康状態	ファームウェア	JC49	バッファサイズ	16384 KB
● 正常	シリアルナンバー	Z2ALA3AV	NV キャッシュサイズ	---
	インターフェース	Serial ATA	回転数	7200 RPM
温度	対応転送モード	SATA/600	電源投入回数	703 回
● 30 °C	ドライブレータ	D: E: F:	使用時間	623 時間
	対応規格	ATA8-ACS   ATA8-ACS version 4		
	対応機能	S.M.A.R.T., 48bit LBA, APM, AAM, NCQ, TRIM		

ID	項目名	現在値	最悪値	しきい値	生の値
01	リードエラーレート	118	99	6	0000081D9C50
03	スピンドル時間	100	100	0	000000000000
04	スタート/ストップ回数	100	100	20	0000000002C1
05	代替処理済のセクタ数	100	100	36	000000000000
07	シークエラーレート	72	60	30	000001067D38
09	使用時間	100	100	0	00000000026F
0A	スピンドル再試行回数	100	100	97	000000000000
0C	電源投入回数	100	100	20	0000000002BF
B7	不明	100	100	0	000000000000
B8	不明	100	100	99	000000000000
BB	ベンダ固有	100	100	0	000000000000
BC	不明	100	100	0	000000000000

少し時間を要しますが、HDDに書き込んである、SMRTのデータを読み込み表示します。電源投入回数、使用時間などが表示されます。健康状態の表示が正常（青）から黄色になったら注意です。赤になれば使用をあきらめます。

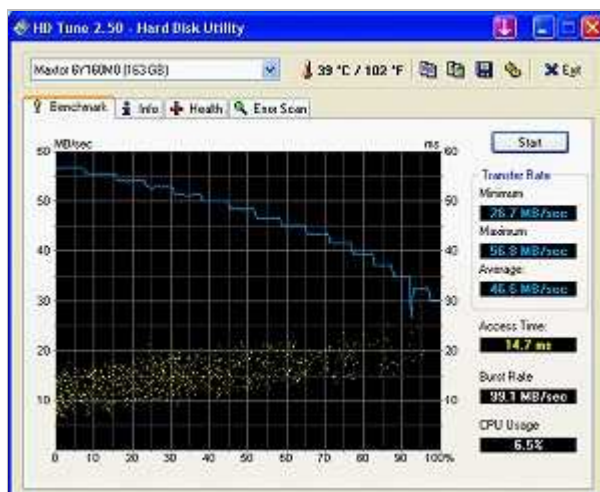


## HD Tuneでハードディスクを調べる！！



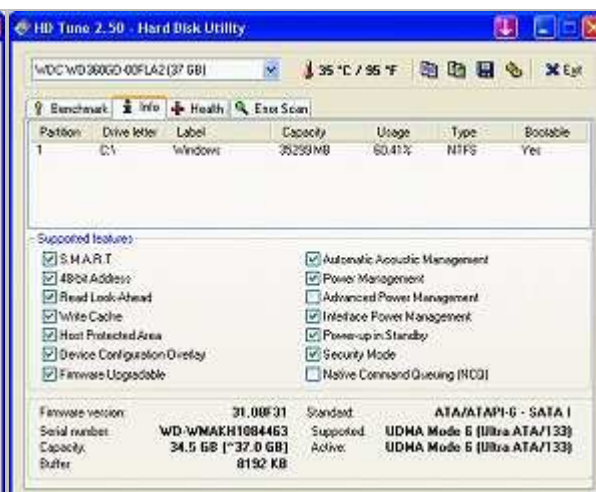
HD Tune

インストールをして、左のアイコンをクリック。  
残念ながら、下記のHDDは使用を続けるのは難しいです。



Benchmark.

Startをクリックすると書き込み速度が調査されます。



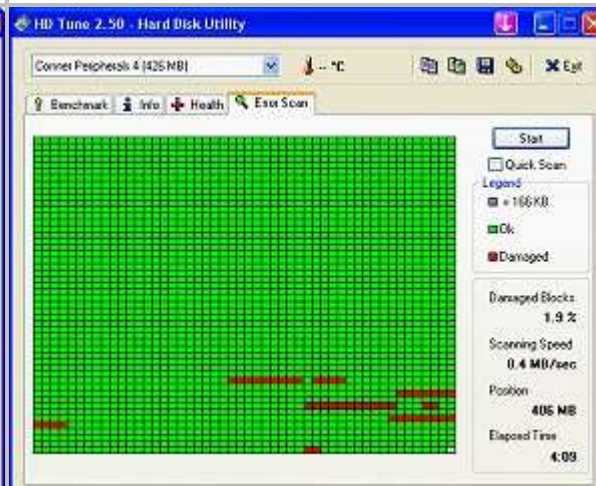
Info.

HDDの容量、バッファメモリの数値、使用量などが表示されます。



Health.

HDDの状態が表示されます。HDDに書き込まれているデータを表示します。赤の項目は不良を表しています。黄色は注意です。



Error Scan.

StartをクリックするとHDDのセクターのチェックが行われます。Quick Scanに設定すると早く行われます。そのまま実行すると丁寧なチェックが行われ時間を要します。赤点は不良ブロックです。